

国際電話での取材

私のデビュー作は2004(平成16)年4月の『モノづくりこそ日本の皆』である。この著書をリリースしたきっかけは、以前からお付き合いのあった日刊工業新聞社出身で、アジア大好きな国際ジャーナリスト、松田健氏に勧められたからだ。

松田氏に「伊藤さんは大学院で若者に教えているが、学生のためだけでなく、アジア進出を迫られている日本の中小企業に役立つような苦労話をまとめては？」学者や経営コンサルタンの本は多いが、実際にモノづくりをアジアで行っている社長自らの本は少ない。悩める日本の中小企業の役に立つべきでは」とあおられて、一気に書き上げたものだ。出版元の工業調査会は

伊藤製作所社長

伊藤 澄夫 50

マイ
my way
ウェイ

言論テレビ IN 三重



当社創立70周年記念対談
(2015年12月17日)

数年前に廃業し、本書は購入できないが、当社のホームページ(<http://www.itoseisakusho.co.jp/>)から無料電子版でお読みいただける。

大変人気があり、韓国でも良く知られている。2007年(平成19)年のある日、彼は講演会の帰りにジャーナリストの櫻井よしこ氏に私の著書を渡してくださった。忙しい櫻井氏は読む時間がないだろうと思っていたが、ある

櫻井よしこ氏との交流

日、「中小企業の社長だから、技術のことと、経営のことばかり書いている」と思ったが、近代史から安全保障、外交、国際問題まで述べられている。大変興味のある方だ」と、鈴置氏に電話で感想を述べられたという。

2008(平成20)年秋、櫻井氏から直々にお電話をいただいた。運悪く私はマニラ出張中だったが、当社の社員からマニラ現地法人の電話番号を聞き、掛け直してくださった。1時間近く国際電話でインタビューを受けたが、駐在員ともども櫻井氏からの電話に大感激したものだ。4日後、帰国し週刊新潮を購入したところ、既に記事として掲載されていた。記事には日本の中小企業の強さや当社のフィリピン進出などが詳しく記載されていた(<https://yoshiko-sakurai.jp/2008/12/18/865>)。

櫻井氏とは安全保障や憲法改正、反中国、安倍総理の評価などで、共通点が多く、その後も交流が続いている。当社の式典で講演してもらったり、対談や会食などで定期的にお会いしている。櫻井氏はご存知のように美人で、実際の年齢よりふた回りも若く見える。その秘訣を聞きたいと思うが、今だに聞き出すチャンスがない。